

自己を見つめて(7)

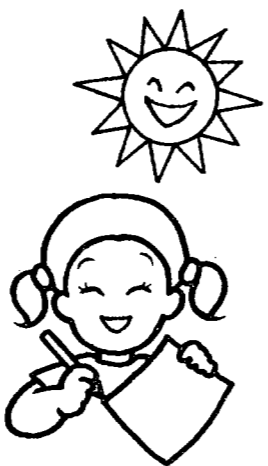
元深小学校長 帯賀 信義

近ごろ「自己責任」という言葉が飛び交っています。新聞によると、イラクで拘束されたNGOの活動家やフリージャーナリストは、自分の軽率な行動で、国や世間に迷惑をかけたのではないかと、「自己責任」の意識に欠けている。けしからんという主張です。

これらのことを受けて、ある県の中学校では『自己責任、どう思う』を主題に、社会科の授業が展開されました。その中で生徒の反応、考えをみますと、A君「ぼくは、事件を知った時かわいそうだ、首相は何をして

いるんだとおもいました。ただ、首相の視点から考えると、そもそもいかならないか、自衛隊を派遣したのは、早く戦争をやめさせるためだからです。そう考えると、人質の家族が早く撤退させるといふのはちよつと自分勝手じゃないかと思いました。でも、自分が家族なら同じことをしそうです。

政府は、家族の視点から、家族の人は、政府の視点から考えたらいいと思います。」B君「ぼくの心は揺れています。確かに自分を危険にさらしてまで人を助けに行くのは大切なことです。だからといって、命を粗末にしていいとは言えません。ぼくなりに結論を出すすれば、わざわざ危険な時に行かず少し安全になつて行くのがベストだと思えます。」



如水館・タイ留学生より みなさん・こんにちは!

わたしの、なまえは、ナツペイ・ラッタナバンデットです。ともだちは、ナツペイトよびます。わたしは16さいです。AFSのりゆうがくせいです。タイのソンワラーからきました。ソンワラーは、マレーシアにちかいです。

これを読ませていただき、指導者の先生に強く感動しました。異なる意見が出会う学習の場が保障され、多様な視点から意見を導く。これは、指導者のすばらしい教育力だと思えます。生徒達一人ひとりの考えの違いを大事にしながらか、考えさせるプロセスは立派であると強く感じました。



もつと胸をはって

なにも遠慮することはないもつと堂々ともつと胸をはって生きていこう
この世に生まれたことはだれでも同じ
堂々と生きる権利がある
みんなそれぞれに役割があつてその役割を果たしながら人間として大切な何かを学んでいる
桜は桜 松は松
私は私で あなたはあなたにどこまでもあなたらしくもつと堂々と 胸をはっていつも明るく 朗らかに生きていこう

日本のたべもので好きなのは、ラーメンです。日本のりょうりは、からくないです。タイのりょうりは、からいです。こんど、タイのりょうりをつくつて、みんなにたべさせたいです。わたしは、はなみのとき、さくらをみて、たのしみでした。あたらしいけいけんをしたり、タイとちがうたくさんのことやあいさつ、たべもの、ひと、せいかつやぶんかをまなぶためです。わたしは、日本のせいかつがすきです。そして、日本がだいすきです。タイにもきてください。



随筆 ウグイス 中之町 河野 強

三月中旬頃、「ホケケキョ、キヨキョ」と下手くそなウグイスの初鳴き声を聞いて以来、まったく鳴き声が聞けなかつた。今年のは旧暦で二月閏年なので季節が遅れ気味で気候の変化が急がしく、暑かたり寒かたりとした。そのせいか、小鳥たちもまだいんぷるエンザにかかりました。見えないのはと、気遣いもしないで、昨日、私は故郷の旧屋敷跡へ用事で行った。そこで、久しぶりでウグイスの鳴き声を聞くことができた。そこは、今のわが谷間の所だが、私を懐かしく迎えてくれた思いがした。私にはウグイス君に敬意を表し、聞いていたが、何か物たりない鳴き声なので、「ちよつと練習を鳴きやろうか」と、付き合うことにした。

口笛で、「ホーホケキョー」と真似をしてやると、だんだん近くへ寄つてきて、さかんに「ケキョ、ケキョ、ケキョ」とだいぶん滑らかそうにさえずるが、去年聞いた美声ではない。二世私には「ひよつとすると、二世ウグイス本来の鳴き方を教えてくれないな」と思い、何回も口笛

子ども会だより

ソフトボール・キックベース ボールの試合報告



子ども会会長 小川和彦
町内の皆様には、平素より子ども会活動にご支援ご協力をいただき誠にありがとうございます。さて、今年もソフトボール・キックベースボールの公式戦が始まりました。子ども達も一杯がんばりました。

○東部地区大会(五月二日)

- ソフトボール
- 深町 2-1 3x 三原小
- 深町 2-1 8 中之町
- 深町 3-1 5 宇和島
- キックベースボール
- 深町 8-1 35 南小連合A
- 深町 22-1 13 幸崎
- 深町 1-1 13 南小連合B

○ソフトボール県大会予選

- 深町 0-1 6 小坂

で「ホーオーホケケキョー、ホーホケキョー」と吹いてやっていたが、どうしても上の句を鳴いてくれなかつた。数日たった雨上がりの朝、奥の屋敷の納屋へ行くと、屋敷跡の向こうの山裾で、突然「ホーホケキョー、キヨ、キヨ、キヨ」と、すずやかな鳴き声がするのどびつくりした。



ボランティア講座

サンライズ大池
案内



この度、地域の皆様に施設利用者の方々と顔なじみになって頂き、互いに「今生きる喜び」を共有出来ることを願いボランティア講座を開催することにしました。ボランティア活動してみようと考えておられる方の参加をお待ちしています。

期間 平成十六年六月九日(水) 七月七日(水)
時間 毎週水曜日 全五回
十四時~十五時三十分
会場 サンライズプラザ四階
サンライズ大池 (第一回)

対象 市民の皆様(特に制限は
ありません)
参加費 無料
定員 三十名
講座内容 ボランティア活動・施設概要・痴呆・介護技術等
講師 ボランティアアカデミー
サンライズ大池 職員

申込みの締切り 十六年六月七日(月)
お問い合わせ 申し込み先
サンライズ大池
ボランティア講座担当
松尾

主催 (電話 6010630)
サンライズ大池
三原市社会福祉協議会

※お断り
「契約トラブルの解決のため」には、今月は休みます